

令和3年6月3日

子育て・健康長寿特別委員会資料

- 1 U I J ターン保育士応援事業について・・・・・・・・・・・・・・・・1 ページ

1 U I J ターン保育士応援事業について

1 事業の目的

保育士等のU I J ターンを促進し、民間保育園等に必要な保育士を確保することで、待機児童の解消を図るもの。

2 現状

(1) 保育士数（正規・臨時の合計）

		令和2年4月	令和3年4月	差引
保育士数	市立	396.9人	410.9人	+14.0人
	私立	915.2人	934.9人	+19.7人
	計	1,312.1人	1,345.8人	+33.7人

(2) 民間保育園等の採用状況（正規）

		令和2年4月	令和3年4月	差引
募集人数	ア	52人	102人	+50人
採用人数	イ	35人	67人	+32人
差引	イーア	△17人	△35人	△18人

注) 令和3年4月の人数は、各施設に聞き取り調査

(3) 待機児童等の状況

		令和2年4月	令和3年4月	差引
待機児童数		37人 (251人)	12人 (158人)	△25人 (△93人)

注) 下段 () 書きは、待機児童数を含む入所保留数

【入所保留者希望欄記入状況】

	第1希望のみ	第2希望あり	3つ以上記載	計
令和2年4月	97人 (38.7%)	54人 (21.5%)	100人 (39.8%)	251人
令和3年4月	75人 (47.5%)	28人 (17.7%)	55人 (34.8%)	158人

注) 下段 () 書きは、構成比

【令和3年4月の待機児童の状況（年齢別）】

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
人数	(7人)	11人 (74人)	(24人)	1人 (32人)	(12人)	(9人)	12人 (158人)
	(81人)		(77人)				
35人採用	112人～29人		80人～442人				192人～471人

注) 下段 () 書きは、待機児童数を含む入所保留数

「35人採用」は、仮に、令和3年4月に民間保育園等において、募集人数どおり採用出来ていた場合の受け入れ可能人数

3 保育士養成校へのアンケート結果

当該事業をより効果的な事業とするため、令和3年4月に、中国・四国・近畿の保育士養成校に対してアンケートを行った。

対象：中国・四国・近畿の保育士養成校（162事業者）43件回答

期間：令和3年4月1日～4月16日

項目	最も多い回答		次に多い回答	
(1) 助成対象となる就職先の施設 現在：認可施設	現状で良い	59%	企業主導型を含んだ方が良い	33%
(2) 県外での勤務期間 現在：3年以上	現状で良い	46%	1年以上で対象にした方が良い	39%
(3) 移住支援一時金と 応援一時金の割合 現在：移住20万、応援30万	現状で良い	83%	移住支援一時金が高い方が良い	17%
(4) 採用期限 現在：移住：9月末まで 応援：6月末まで	現状で良い	66%	応援一時金を延長すべき	23%

4 事業の概要等

(1) 要件緩和

民間保育園等で保育士不足の状況が続いていることや、保育士確保ができれば待機児童を解消することが可能と考えられることから、保育士養成校の意見を踏まえ、当該事業の対象者等の緩和を行うもの。

項目	従来	緩和後
① 就職先	私立保育園等（認可私立保育園、認定こども園）	左に、小規模保育事業所、事業所内保育事業所、企業主導型保育事業所を加える
② 県外での勤務期間	3年以上	1年以上
③ 採用の期限	移住支援一時金 ：9月末まで 応援一時金 ：6月末まで	どちらも9月末までに採用された場合を支給対象とする

注)令和3年度事業についても、令和3年7月1日以降の採用について適用。

③は、臨時職員として採用したのち正規化する園があることから、令和4年度事業は、10月1日までに正規化された保育士も対象とする。

(2) 対象者の要件等

対象者の要件	補助金額
① 就職を機に県外から転入した者が、徳島市内の私立保育園等に正規職員として就職した場合	移住支援一時金 20 万円 ＋ 応援一時金 30 万円
② 県内出身者が、県外で1年以上就職したのち、徳島市内の私立保育園等に正規職員として就職した場合	
③ 県外出身者が県内の保育士養成校を修了し、徳島市内の私立保育園等に正規職員として就職した場合	応援一時金 30 万円

5 令和3年6月補正予算（案）

（債務負担行為）

（単位 千円）

事項	期間	限度額	左の財源内訳
			一般財源
UIJターン保育士応援事業	令和4年度	10,000	10,000